

# 国高っ子「国語」・「算数」・「理科」の力と学習や生活の様子

～『R4 全国学力・学習状況調査(2022.4.19 6年生が実施)』結果から～

◎は良いところ ▲は伸ばしたいところ ◇は対策

## 国語

### ① 「学習指導要領の5内容における結果から」

「言葉の特徴や使い方に関する事項」の領域で、力がついています。特に、知識・技能に関わる語句の使い方が理解できています。「書くこと」「読むこと」に関しては課題がみられました。

### ② 『特に正答率の高かった問題からわかること』

◎漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くことができています。

◎話し言葉と書き言葉の違いをよく理解しています。

◎人物像や物語の全体像を具体的に想像する力が身に付いています。

◎文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整える力が身に付いています。



### ③ 『課題として』

▲登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることや、登場人物の相互関係について描写を基に捉えることに課題がみられます。

▲文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることに課題がみられます。

◇**学校では** … 登場人物の気持ちを、行動や会話、地の文などの叙述、場面などに着目しながら考える場を授業に取り入れて、捉え方の違いを「交流」を通して学級全体で学ぶように授業を展開します。

書いた目的や意図を相手に伝えたり、感想や意見を伝え合ったりする活動を通して、学習したことを「共有」し、自分の文章のよさを知り、意識化するように指導していきます。

◇**ご家庭では** … 例えば親子読書等で、登場人物の気持ちを話し合ってみてはどうでしょうか。どこに着目したかで、捉え方が違うことを身近に感じることができるようになるでしょう。自分が書いた文章を、日頃から読み返す習慣を身に付けましょう。

## 算数

### ① 『学習指導要領の4領域における結果から』

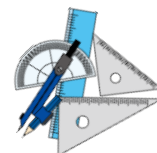
「数と計算」「図形」の領域で力がついています。「データの活用」の領域では、表の意味を理解したり、目的に応じてグラフを選択し、必要な情報を読み取ったりする力がついてきました。「変化と関係」の領域に関しては課題がみられました。

### ② 『特に正答率の高かった問題からわかること』

◎示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述することはよくできています。

◎長方形やひし形の意味や性質、構成の仕方についてよく理解しています。

◎加法と乗法の混合したポイント数の求め方を解釈し、他の場合のポイント数の求め方と答えを記述することができます。



### ③ 『課題として』

▲数量が変わっても割合は変わらないことを理解することに課題がみられます。

▲示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察することに課題があります。

▲分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察することに課題があります。

◇**学校では** … 日常の具体的な場面において、二つの量の関係を表す数である割合が変わらないことや変わることを体験する活動を授業で取り入れ、割合のイメージを捉えられるようにしていきます。日常の場面を想定し、概数にする方法である切り上げ、切り捨て、四捨五入のどの方法が適切であるかを判断するような授業を展開します。

◇**ご家庭では** … 日常生活の中でも、買い物など概数で計算する機会や、商品で割合が使われている物を目にする機会は多くあるので、一緒に会話をする中で、それらに興味・関心をもてるようにしていきましょう。

## 理 科

### ① 「学習指導要領の4領域における結果から」

「生命」「地球」を柱とする領域で、力がついています。特に、知識・技能に関わる観点が理解できていました。「エネルギー」「粒子」を柱とする領域に関しては課題がみられました。

### ② 『特に正答率の高かった問題からわかること』

◎ナナホシテントウに関する問題を解決するために必要な観察の視点を基に、問題を解決するための道筋を構想し、自分の考えをもつことが身に付いています。

◎夜の気温の変化について、他者の予想を基に、記録の結果を表したグラフを見通して選ぶことができています。

◎実験の結果から、問題の解決に必要な情報が取り出しやすく整理された記録を選ぶことができています。

◎メスシリンダーについて理解し、正しい扱い方を身に付けています。

### ③ 『課題として』

▲日光は直進することについての理解に課題があります。

▲缶の色と水の温度変化との関係についての実験で得た結果を、分析して解釈し、具体的な数値や分析した内容に基づいて、結論の根拠を記述することに課題がみられます。

▲自然の事物・現象から得た情報を、他者の気付きの視点で分析して解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述することに課題がみられます。

◇**学校では** … 問題に対するまとめを行う際には、実験結果の数値を全体で共有し、何を根拠にしているかを話し合い、説明したり記述したりし、表現する場面を設定します。習得した知識を、次の学習や生活などに生かすことができるようにすることを意識して授業に取り組みます。

◇**ご家庭では** … 自分の考えや理由を説明する力は大切な力です。「なぜ?」「どうして?」と考えながら生活していくことを心がけましょう。日常生活の中でも、自然現象を目にする機会は多くあるので、疑問に感じたことをiPad等で調べたり会話をしたりする中で、それらに興味・関心をもてるようにしていきましょう。

## 学習と生活の様子

### 【家庭や地域に関すること】

- ◎ほとんどの児童が、朝食を毎日食べ、毎日同じ時刻に起きると答えており、規則正しい生活が身に付いています。
- ◎今住んでいる地域の行事に参加している児童の割合が高いです。
- ◎スマートフォンやゲームの使い方について、家の人と約束したことを守っていると答えた児童の割合が高いです。
- ▲平日・土日ともに学校以外で勉強をしている児童の割合が低い傾向にあります。
- ▲家で読書をしたり、新聞を読んだりする児童が少ない傾向にあります。
- ◇学年に応じた家庭学習の時間を習慣づけ、家族一緒に読書をしたり、新聞を読んだりしましょう。



### 【自分自身に関すること】

- ◎いじめはどんな理由があってもいけないことだと思っている児童が非常に多くいます。
- ◎人の役に立つ人間になりたいと思っている児童が多くいます。
- ◎将来の夢や目標をもっている児童が多くいます。
- ◎自分にはよいところがあると思っている児童の割合が全国、県平均より高いです。

### 【学校に関すること】

- ◎学習の中で ICT 機器を利用することが役に立つと考えている児童の割合が高いです。
- ◎国語・算数・理科などの勉強は大切で、将来、社会に出たときに役に立つと思っている児童が多いです。
- ◎多くの児童が、学校に行くこと、友だちと協力することが楽しいと思っています。
- ◎学校で、ICT 機器をほかの友だちと意見を交換したり、調べたり、自分の考えをまとめたりするために週 3 回以上使用している割合が高いです。
- ▲普段の生活の中で、算数や理科で学習したことを活用できないか考えている児童が少ない傾向にあります。
- ▲将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと考えている児童の割合は、全国平均より低い傾向にあります。
- ◇授業では、学習したことと生活を結び付けるような内容を意識して取り入れていきます。
- ◇今後も ICT 機器を有効に活用し、「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善に取り組んでいきます。